

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2014. 9. 1

下水道機構の『新技術情報』 第154号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今日は防災の日ですね。機構では午前中、避難訓練を実施しました。訓練の前に「非常持出袋」の中身を確認したのですが、水や食糧の賞味期限が迫っていたり、切れていたりしました。意外と賞味期限は短いのですね。皆様もこの機会に確認してみたいかがでしょうか。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第154号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・「チェーンフライト式汚泥掻き寄せ機技術に関する共同研究」の共同研究者を募集！
- ・9/1付で人事異動がありました

■機構の動き

- ・今週は、特に行事はありません

■Tea Break

- ・ガンバロウ！日本！（研究第二部 某市のBCP訓練で張り切りすぎたMさん）

■まる子のゆいまーる♪

- ・今週は、「まる子の夏休みの絵日記」をお届けします♪

■国からの情報

- ・8/29付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。

- 「チェーンフライト式汚泥掻き寄せ機技術に関する共同研究」の共同研究者を募集！
研究概要等の募集内容の詳細は、こちらを参照下さい。

→

<http://www.jiwet.or.jp/archives/collaboration/%e3%80%8c%e3%83%81%e3%82%a7%e3%83%bc%e3%83%b3%e3%83%95%e3%83%a9%e3%82%a4%e3%83%88%e5%bc%8f%e6%b1%9a%e6%b3%>

[a5%e3%81%8b%e3%81%8d%e5%af%84%e3%81%9b%e6%a9%9f%e6%8a%80%e8%a1%93%e3%81%ab%e9%96%a2%e3%81%99](mailto:s-iwashita@jiwet.or.jp)

募集期間：平成 26 年 11 月 25 日（火）正午まで
問合わせ先：資源循環研究部 岩下、伊藤、石田
TEL；03-5228-6541
MAIL；s-iwashita@jiwet.or.jp

●9/1 付で人事異動がありました

平成 26 年 8 月 31 日付け転出者（1 名）

【研究第二部】

総括主任研究員 大西 学（(株)東京設計事務所）

平成 26 年 5 月 1 日付け転入者（2 名）

【企画部】

企画部長 中島英一郎（国土交通省 大臣官房付(インドネシア共和国)）

【研究第二部】

主任研究員 中村 誠（(株)東京設計事務所）

。○○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○○。

○平成 26 年 9 月 11 日(木)17：00～18：00

行 事：第 329 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

ゲスト：横浜市環境創造局 下水道計画調整部【講師は調整中です】

テーマ：『社会を取り巻く課題解決と横浜市の発展に貢献する

新たな下水道事業戦略』

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

Tea Break（機構職員の感じるまま）

。○○。

●ガンバロウ！日本！（研究第二部 某市の BCP 訓練で張り切りすぎた M さん）

9 月 1 日、多くの方が防災訓練に参加したと思います。今日は関東大震災の日です。しかし、多くの人々の記憶にあるのは、関東大震災よりも、阪神淡路地震、東日本地震です。

阪神淡路地震では、それまでの耐震設計の概念を大きく変えました。地震に強いと考えられていた土木構造物にも、多くの被害が発生しました。地下鉄駅部の陥没、高速道路の倒壊などです。現在は、レベル2の概念を導入した新しい耐震設計が制定され、既設構造物を含め、耐震補強が進みました。また、被災した下水処理場の仮復旧として、隣接する河川の一部、沈澱池として利用するアイデアも生まれました。現在、神戸市は震災に強い、新しい街に生まれ変わることができました。

東日本大震災では、地震による揺れだけでなく、津波の怖さを改めて、理解されました。この大災害でも、仙台市は下水道 BCP を立案していたため、下水道事業を速やかに復旧させることができました。この事例により、下水道 BCP の重要性を改めて認識されました。被災地の東北地方の人々は、今も復旧、復興に努力をしています。近い将来、東北地方の被災地も、神戸市のように生まれ変わると確信しています。

これらの大災害は日本の元気がない時代に発生しました。失われた 10 年とよく言われます。それよりも明るく夢のある明日への 10 年を考え、行動することが重要ではないでしょうか。ガンバろう！日本！

。○○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○○。

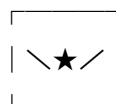
●今週は、「まる子の夏休みの絵日記」をお届けします♪

さて、まる子はどこへ

答えはこちら→ <http://www.jiwet.or.jp/yuimar2014-9-1>

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

「地方の創生、人口減少の克服」、「国民の安全・安心の確保」及び「成長戦略の具体化」を柱として据えることとしました。具体的には、東日本大震災からの復興を加速させるとともに、地方創生と人口減少の克服、防災・減災対策、国土強靱化、インフラ老朽化対策等の国民の安全・安心の確保、国際競争力の強化をはじめとした成長戦略の具体化等に対して着実に取り組むこととしています。なお、下水道事業においては、経済財政運営と改革の基本方針2014（骨太の方針）、日本再興戦略改訂2014、国土強靱化基本計画、国土のグランドデザイン2050等を踏まえ、また新下水道ビジョンの中長期的方針に沿って以下の施策等に必要な予算を要求することとしております。

- ・ 防災・減災対策
- ・ 老朽化対策等を含むアセットマネジメント
- ・ 未普及地域の早期解消
- ・ 民間活力の導入
- ・ 再生可能エネルギー等の利用
- ・ 水ビジネスの国際展開

《平成27年度国土交通省予算概算要求（国費）》

○一般会計	6兆6,870億円（対前年度1.16倍）
うち公共事業関係費	6兆121億円（対前年度1.16倍）
・社会資本総合整備	2兆3,291億円（対前年度1.17倍）
・下水道事業関係費	62億円（対前年度1.16倍）

→詳細は国土交通省HPをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_003586.html

=====

◆福知山豪雨：排水ポンプ車などで1.5万トン緊急確保〈8/25 両丹日日新聞〉

<http://www.ryoutan.co.jp/news/2014/08/25/008216.html>

◆下水処理施設、思い切って簡素化 インフラ整備 早く安くの動き〈8/28 SankeiBiz〉

<http://www.sankeibiz.jp/macro/news/140828/mca1408280430002-n1.htm>

◆ベトナムで下水管修繕 積水化学と大阪市〈8/27 日本経済新聞〉

<http://www.nikkei.com/article/DGXDZ076204530W4A820C1FFE000/>

◆北九州市の高度浄水設備、ベトナムに整備へ〈8/28 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/fukuoka/news/20140827-0YTNT50511.html>

◆広島 水路から水あふれ復旧阻む〈8/26 NHK NEWSWEB〉

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20140826/k10014101001000.html>

◆下水道の仕組みなど学ぶ 長野でイベント〈8/25 msn産経ニュース〉

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/140825/ngn14082502080001-n1.htm>

◆10～20年間隔でくる大被害、活断層多く高くて早い到達時間 最短1分に「計画練り直し」〈8/27 msn産経ニュース〉

<http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/140827/dst14082708070003-n1.htm>

◆「運河の裏側」を見学、排水処理など学ぶ キャナルシティ博多〈8/25 西日本新

聞)

http://www.nishinippon.co.jp/nnp/f_toshiken/article/109897

◆下水道ガス発電で鶴岡市が協定〈8/26 河北新報〉

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201408/20140826_52027.html

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/seikai6.pdf>
